

過多月経・過長月経

患者様情報

来院されるまでの症状

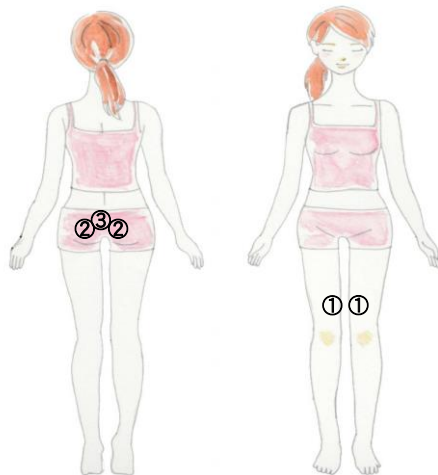
- ・2017年から【子宮筋腫】の治療で定期的に来院されている患者様です。
- ・初診では【子宮筋腫】、【生理痛】、【生理不順】等の婦人科疾患で来院されました。
- ・2022年の10月ごろに来院された際に「8月末に始まった生理がなかなか止まらない」との事で治療を開始しました。

患者様	50代 女性
初診	2017年9月
既往症	子宮筋腫
他の症状	生理痛、生理不順、むくみ

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・8月末に始まった生理は10月になっても続き、日によって出血量が多くなるとのことで、貧血で鉄剤を服用されていました。
- ・子宮筋腫の内膜肥厚による過多月経と過長月経であると診立てました。
- ・生理のトラブル（生理痛や貧血なども含む）ですので、血流を促す「血海」のツボをお灸で温めました。
- ・仙腸関節付近を切経してみると、力がなく凹んでいたもので「次髎」と「腰俞」のツボにお灸と浅めの鍼で補う治療を行いました。



■ 初診後の経過

- ・2週間後に再来院された際に、「前回の治療後すぐ生理が止まった」との事でした。
- ・その後2週に一度来院していただき、過多月経が起こらないように治療を続けています。

使用した主要なツボ

- ①血海（ケツカイ） ②次髎（ジリョウ）
③腰俞（ヨウユ）

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・子宮筋腫や、子宮筋腫に伴う過多月経・過長月経は重度の貧血を引き起こす可能性があるため、まずは一度病院で診断を受けることをお勧めします。
- ・鍼灸は過多月経・過長月経の早期改善や、貧血の予後治療には最適ですのでお気軽にご相談ください。